

公民館月報

K O M I N K A N G E P P O



4.5 特集 「子どもの居場所」づくり

- 2 **トピックス** 第1回理事会・評議員会開催
- 3 **視点** 子どもとの関わりの中で
- 3 **ひろば** 地域のスクラムで十万株のカタクリを育てる
- 6 **実践記録シリーズ** 「よしかわ家庭教育セミナー」
- 7 **サークル交流** とし子の部屋（佐渡市）／太極拳同好会（塩沢町）
- 7 **素顔拝見** 林真紀子さん（小千谷市）／柵 昌美さん（西川町）



三和村
「谷内池のオニバス」



ご祝辞、三浦課長様

去る五月二十五日(火)、第一回理事会・評議員会が新潟市中央公民館で開催された。

来賓には、県生涯学習推進課長様をはじめ、四人の方をお迎えして定刻に開催。

議長には、下公連豊栄市中央公民館長佐藤晴夫氏を選任、議事に入った。

◆審議内容

- 一、平成十五年度公務報告及び歳入歳出決算について
- 二、役員改選について (新役員名簿別掲第三面)
- 三、平成十六年度基本方針・重点目標、事業計画案について
- 四、平成十六年度歳入・歳出案について
- 五、会則の一部改正について (顧問等の任期制)
- 六、第五十五回新潟県公民館大会(長岡大会)について
- 七、第四十五回関東甲信越静公民館研究大会(東京大会)への参加要請について
- 八、自主財源確立のための調査検討委員会の設置について

第一回理事会・評議員会開催

- 平成十六年度基本方針・重点事業決定
- 自主財源確立のための調査検討委員会設置

新会長は佐藤信幸氏に

(新潟市中央公民館長)

- [3] 平成15年度事業報告
- [4] 平成15年度決算報告
平成15年度監査報告
- [5] 平成16年度事業計画案・評議員会
・下越地区公民館役職員研修会
- [6] 平成16年度予算案
- [7] 各地区情報交換
- 5 閉会の挨拶
下越地区公民館連絡協議会副会長 渡邊徳廣

下公連第1回評議員会開催

- 1 開会
- 2 挨拶
下越教育事務所社会教育課長 小松 茂夫様
- 3 自己紹介出席者18人
- 4 議事議長 豊栄市
- [1] 平成16年度役員を選出
- [2] 新会長挨拶
(新潟市中央公民館長) 佐藤信幸

中公連第1回理事・代議員会開催

- ◇期日 平成16年5月19日(木)
- ◇会場 アトリウム長岡(出席者41人)
- ◇日程 (1)理事・代議員会 14:15~15:00
(2)講話 15:15~16:15
- ◇次第
【理事・代議員会】
(1)開会
中越地区公民館連絡協議会長 吉岡 潤一
(2)祝辞
中越教育事務所社会教育課長 青柳 良一様
新潟県公民館連合会事務局長 鈴木 友夫
(3)議事
①役員改選について

- ②平成15年度事業報告及び会計決算報告について
- ③平成16年度事業計画(案)及び予算(案)について
- ④第52回中越地区公民館研究大会について
- ⑤第55回新潟県公民館大会について
- ⑥平成16年度中越地区公民館長・主事・公運審研修会について
- ⑦平成16年度中越地区公民館職員研修会について
- ⑧その他
- (4)閉会挨拶
中越地区公民館連絡協議会監事 丸山 進
- 【講話】
標題 「教育相談活動から学ぶもの」
講師 西山町公民館長 若林 正栄

対応のための委員会を設置することとなった。

◆報告・連絡事項

(1)全公連優良職員表彰並びに永年勤続職員表彰については、第四十五回開ブロ大会第一日目全体会で
で行われること。

対応のための委員会を設置することとなった。

◆情報交換
各都市公連持寄り資料の説明がなされた。

◆今年度、市町村合併問題第一回研修会
新潟大学教育人間科学 多数参加された。

(2)公民館月報の原稿執筆

割当てについて

◆今年度、市町村合併問題第一回研修会

この研修会には、新潟市地区公民館長さん方も多数参加された。

部助教授、雲尾周先生をお迎えして、「市町村合併が進む中での公民館のあり方」について、ご講話いただいた。

この研修会には、新潟市地区公民館長さん方も多数参加された。

視点

子どもとの関わりの中で

新潟市西地区公民館 新潟大学教育人間科学部 学習社会ネットワーク課程
「まなび屋」学生スタッフ代表 水上雄太



木曜日の夕方、今日も新潟市西地区公民館にはたくさんの子どもの声が響いています。まなび屋は、学校が終わった後に子ども達が集まって何かをまなぶ「放課後の居場所」として、学生の呼びかけの下に大学と公民館の協力で立ちあげられました。その活動も、今年度で四年目を迎えています。

まなび屋の活動の中で「まなびの時間」という時間があります。その時間では、私達学生スタッフや地域の方々が講師となり、子ども達に様々な「まなび」を提供しています。講師として、そして一緒にまなぶ人間として子どもと関わっていく中で、私達学生スタッフは、子ども達一人一人の様々な一面を見ることができ、その一面を見て、私達学生もいろいろなことを感じます。私達もまなび屋で、子ども達と共にまなび続けているのです。

誰もが共にまなべる所、それがまなび屋です。生涯学習の一環であるこの活動を、慣れ親しんだ公民館で、私達はこれからも続けていきます。



地域の雑木林の切り倒し、シーズンの数回の草刈り作業をスクラムを組んで汗を流して数年間取り組んできた成果である。地道な郷土愛の結果がカタクリの名所を育てている。

日の温もりが地上に届き出すと花びらは徐々に開き、日中の強い日差しの中で花弁を反り返らせ俯いて咲く。残雪の駒ヶ岳が輝き全山芽吹く今、十万株の紫の花びらが春風にはためく様は壮観である。

掲示板

平成16年度(平成16年5月25日現在)新潟県公民館連合会役員名簿

都市名	役職名	氏名	所属公民館	
下越地区	会長	佐藤 幸夫	新潟市中央公民館	
	副会長	藤田 徳廣	新潟市中央公民館	
	理事	渡邊 隆夫	新潟市中央公民館	
		生内 政文	村上市中央公民館	
	理事	竹山 倉林	燕市中央公民館	
		熊小 佐見	五泉市公民館	
	理事	伊藤 博一	白根市中央公民館	
		阿若 兵雄	豊栄市中央公民館	
	監事	若土 高	阿賀野市世神公民館(北蒲原郡も兼ねる)	
		高橋 志平	佐渡市公民館	
	中越地区	副会長	岡田 一夫	長岡市中央公民館
		理事	井藤 俊一	三条市中央公民館
藤原 守栄			柏崎市柏崎公民館	
理事		大矢 誠明	小千谷市公民館	
		久保 正光	加茂市公民館	
理事		山田 久毅	十日町市公民館	
		石井 治進	見附市中央公民館	
監事		谷口 山	栃尾市公民館	
		山田 山	下田市中央公民館	
上越地区		副会長	秋山 恵子	上越市立公民館
		理事	石井 義一	糸魚川市中央公民館
			石井 義一	新井市公民館
	監事	石井 義一	松代町公民館	
		石井 義一	頸城村公民館	
	石井 義一	名立町公民館		

顧問、今井 昭友(新任・前会長)

地域のスクラムで 十万株のカタクリを育てる

湯之谷村公民館長 大桃 久夫

ひろば



大湯温泉にカタクリの群生地がある。国道沿いの山麓に十万株は優に超えている。「ゆのたにのかたつこの小旗が温泉街から「かたつこの群生地」まで所々に立てられていて、この街の人達の優しい心遣いを感じる。

太陽は顔を離れて一メートルも登っているというのに、朝の風は頬を硬直させるほど冷たい。カタクリ達は、皆同じように花びらを閉じたまま太陽に向かって首を垂れて風にゆらぎながら潮のごとく山一面に広がっている。未だ恋を知らない乙女達が、精一杯の装いをして舞台上に躍り出ようとしている姿に似て清楚で美しい。

小針青山公民館の取組み

ながら確実な歩みができる布陣となっています。
 活動の内容は、別添えの写真のように高齢者と子どもの囲碁、将棋、あやとりなどの異年齢交流をはじめ、マジックショーや昔話の紹介、手作りケーキを使った「ふれあいTea Time」と参加者が退屈しないような工夫をこらしています。また、マンネリに陥らないよう、各種の研修会への参加や自己研鑽にも力を注いでいます。



なお、PRの方法としては、毎日曜に発行の『市報にいがた』への掲載のほか、表1「地域ふれあいサロン」及び表2「2004地域ふれあいサロンカレンダー」を5000枚印刷し、地域内の9小学校及び自治会に配布しています。

〔表1〕

出合い ふれあい 語りあい 地域ふれあいサロン

●●無料●●

日	時	第1・3・5土曜日
		9:30~12:00
場	所	小針青山公民館 1階プレイルーム
問	合	先
		小針青山公民館 電話 230-1071

将棋 囲碁
 お手玉 折紙 ゲーム
 フラフープ 竹馬手芸
 カルタ おはじき

いろいろ
 あるよ!!
 あそびに
 きてね!!

〔表2〕 2004 地域ふれあいサロン カレンダー

6 月							7 月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
		1	2	3	4	5					1	2	3
6	7	8	9	10	11	12	4	5	6	7	8	9	10
13	14	15	16	17	18	19	11	12	13	14	15	16	17
20	21	22	23	24	25	26	18	19	20	21	22	23	24
27	28	29	30				25	26	27	28	29	30	31

電話 230-1071 FAX 230-1072
 e-mail nishi.ci@city.niigata.lg.jp

4 おわりに

「地域ふれあいサロン」の趣旨が多くの人々(特に高齢者)に理解されているか?また、集まってくる子どもたちの要求に答える内容であるのか、まだまだ克服しなければならない課題が多くあります。しかし、24人の役員一同、年間約25回のサロンには日程の調整をしながら2人一組で担当し、子どもや高齢者とのコミュニケーションをはかっています。「子どもの居場所」も含めて地域の人々の居心地の良い場所をめざして。

特集

「子どもの居場所」

新潟市西新潟市民会館
館長 伊藤 高



1 はじめに

私の勤務する新潟市西新潟市民会館は平成9年4月1日に会館し、市民会館部分の「新潟市西新潟市民会館」と、公民館部分の「新潟市小針青山公民館」の2つの施設からなる複合施設です。小針青山公民館は、坂井輪地区公民館の分館という位置づけにあります。坂井輪地区自体が人口9万人余りの地区でもあり、小針青山公民館も定期利用団体130団体、年間利用7万人（平成15年度利用者）の市内でも利用の多い公民館のひとつです。また、茶室（静思庵）、多目的ホール（客席数300席）、ギャラリーの有料3施設をもつ市内でも有数の施設です。

そんな公民館の一室に、プレイルーム（Children's Play Room）があります。面積153.00㎡の使い勝手の良い空間で、市内の公民館で、これだけの規模の子どものための空間をもった公民館は他にはありません。しかし、こんな立派な施設も有効利用しなければ単なる空間でしかありません。多くの人に有効に活用されてこそ、その価値を発揮し、建設した意義が認められるというものです。子どものための空間とはいえ、子どもが使わない時間帯には成人の学習に提供をしております。成人の活動の主なものとしては（卓球、親子遊び、太極拳、民踊、3B体操、ダンス）があります。

2 「子どもの居場所」の取組み

小針青山公民館の取組みは、以下の3つが主なものとなります。

①夏休み学習室

小・中・高校生対象

夏期休業中の期間 9:00～17:00

館内の空き施設

②プレイルーム開放事業

原則として小学生まで

未就学児は保護者付添い

火～金祝日 13:00～17:00

土日 9:00～17:00

③地域ふれあいサロン

そこで今回は、この地域ふれあいサロンについて詳しく説明いたします。

3 地域ふれあいサロン

小針青山公民館の団体・グループで組織する小針青山公民館利用団体連絡協議会では、平成13年6月30日に、当時の「まごころヘルプ室長 河田珠子さん」を講師に迎え、「今、いのちを見つめて」という講演会を開催いたしました。そして、先生の講演のなかに「少子・高齢化が進む今、地域の活発な縦社会の関わり方がこれまで以上に大切になる」という話に刺激を受けて、小針青山公民館の「子どもの居場所」3本柱のうち一番重要な位置を占める「地域ふれあいサロン」を立ち上げることになったわけです。

〔活動の趣旨は〕

- ・誰かと話したい、さみしい、お茶飲みがしたい
- ・気が向いたら、好きな時間に気楽にいける場所
- ・自然体であたたかく居心地のよい居場所づくりとし、子どもを中心としながらも、異年齢の大人・高齢者も含んだ地域の「茶の間」という発想でスタートいたしました。

◆ 名称：地域ふれあいサロン

◆ 開放日：毎月第1・第3・第5土曜日

◆ 時間：午前9時30分～12時

◆ 会場：小針青山公民館プレイルーム

◆ 利用者：幼児、児童、生徒、成人、高齢者
ボランティア

◆ きまり：利用者を干渉しない

◆ 費用：役員の寄付金その他

◆ 運営：会長 1名
副会長 若干名
理事 若干名
会計 1名
事務局 若干名

運営にあたる役員構成を見ましても、地域の小・中学校長、民生児童委員、町内自治会代表、主任児童委員、PTA関係者、利用者と、小規模

実践記録 75 シリーズ

「よしかわ家庭教育セミナー」 ～青少年が夢と希望を抱き元気に活動するまちづくり～

吉川町教育委員会 派遣社会教育主事 湯浅 昭司

1 みんな子どもたちが 気になっている

昨年7月、吉川町役場ホームページ上にある掲示板では、青少年の地域参加についての意見交換が活発に行われました。掲示板でのやりとりから、町民が町の将来を担う青少年に対して関心を寄せていることがうかがえました。そして、町公民館で計画していた家庭教育講座では、地域住民が一体となって取り組む青少年の支援策を検討していこうという方向が固まってきました。



第3回家庭教育セミナーの様子

地域の役割についての話題提供や講演会を交え、確かな情報をもとに参加型学習で自分の考えを整理できるように配慮しました。学習プログラムは、別表の通りです。

2 参加型学習で じっくりと考える

「次代を担う青少年が夢と希望を抱き、元気に活動するまちづくり」を本講座のテーマとして掲げました。そして、地域住民が同じ方向で青少年を支えていく方策をじっくり検討できるように、参加型学習を中心とした連続5回（平成15年9月～10月）の講座を設定しました。

また、青少年の実態及び家庭や

3 家庭教育セミナーからの メッセージ

講座の成果として、青少年のために家庭や地域の大人ができることとして、具体的な6つの方策を導き出しました。そして、この学習成果をパンフレットにまとめ、家庭教育セミナーからのメッセージとして町生涯学習フェスティバルや子育て講演会の来場者に配布して、学習成果の紹介と家庭や地域の教育力向上の啓発を図ってい

きました。

4 16年度は 実践の場の提供

当町では、家庭教育の振興を16年度も重点事項として取り上げています。昨年度実施してきた学ぶ場の提供を一層充実させていくとともに、親子で参加できる具体的な実践の場を提供していきたいと考えています。

平成16年度
吉川町家庭教育振興事業

- 小学校、中学校PTAと連携した「家庭教育講演会」の開催（年間3回）
- 町ぐるみで取り組む「あいさつ運動」の実施（通年）
- 乳幼児親子を対象とした講座「親子ふれあいパーク」（全5回）
- 中・高校生親子を対象とした講座「青少年親子チャレンジ登山」

回	期日	内容
1	9/26(金)	○話題提供 「子どもの成長とふるさと」吉川町社会教育指導員 上野實英様 「中学校の保健室から」吉川中学校養護助教諭 岩崎友忠様 「管内の青少年犯罪」上越南警察署原之町駐在所 酒田隆一様
2	10/3(金)	○参加型学習「青少年をめぐる問題について」
3	10/10(金)	○講演「青少年をめぐる状況と地域社会の役割」 講師：上越教育事務所社会教育課長 高橋 守様
4	10/17(金)	○参加型学習「青少年のために大人ができること」
5	10/24(金)	○セミナーのまとめ「家庭教育セミナー」からの提案

平成15年度 よしかわ家庭教育セミナー学習プログラム

次代を担う青少年が夢と希望を抱き
元気に活動するまちづくりをめざして

～よしかわ家庭教育セミナーからのメッセージ～

「よしかわ家庭教育セミナー」は、青少年の成長と地域社会の発展を促進することを目的として、地域住民が一体となって取り組む青少年の支援策を検討し、実践の場を提供することを目的としています。

「よしかわ家庭教育セミナー」は、青少年の成長と地域社会の発展を促進することを目的として、地域住民が一体となって取り組む青少年の支援策を検討し、実践の場を提供することを目的としています。

- 早寝早起きの習慣を付けよう！
- 家庭や地域の仕事を考えよう！
- テレビを見ない、テレビゲームをしないうちをつくりましょう！
- 地域の子どもたちに声をかけよう！
- 青少年の活躍の場をつくりましょう！
- 子どもたちに吉川のよさを伝えよう！

ぜひ、みんなの家庭や地域で実践してあげてください。

よしかわ家庭教育セミナー

学習成果をまとめたパンフ

指先のぬくもりを
感じながら
とし子の部屋

公民館講座「紙粘土教室」を平成七年にスタートして、まもなく十年を迎えようとしています。

空瓶などを土台にした最も初心者向きの技法で、素敵な人形が出来たり、これが紙粘土？と思うようなアクセサリーや小物、また、大きなレリーフなどの大作なども。私達は基本的には、自分の作りたい物にトライしています。紙粘土で形づくっていくプロセスが楽しく、心を豊かにし



てくれます。そして、恒例の公民館文化祭には、毎年出品させていただき、今年は佐渡市になって初めての文化祭なので、みんな作品に力が入っています。月2回の教室で、私達は指先のぬくもりを感じながら、作品作りを楽しんでおります。

佐渡市 とし子の部屋
代表 本間恵美子 記



生涯スポーツ
太極拳同好会

私達は、昨年五月から十日の期間限定で行われた町の成人教室を契機に集まり、期間終了後もつと続けたい！と再結集した同好会です。太極拳は心身をリラックスさせ、



ゆっくり柔らかな動きが殆どですので、年配者や虚弱体質の方など誰でも自分の体力に合わせ、手軽に始められる健康的なスポーツです。私達の中でも、肩こり腰痛膝痛が和らぐと喜びの音が挙がっています。春の季節には満開の桜の下で練習したりしますが、これも最高のリラクゼーションといえます。夏休みのラジオ体操に集まるように、多くの人達に健康づくりの一環として太極拳が誰でも手軽にできるスポーツとして、町全体に広まってくれることを願っております。

塩沢町 太極拳同好会
荒井美佐子 記

社会教育主事であり、公民館主事であり、日々忙しいに関わらず、住民にいつも笑顔で接してくれるホントに優しい柵さん。わが西川町にとって、いや新潟県の公民館にとって大切な存在です。

柵さんに「公民館は、もう何年目？」なんて問い掛け、不要です。いつも明るく、いつも新鮮な気持ちで仕事に取り組んでいる姿勢には、頭が下がる思いです。

西川町教育委員会社会教育課
主任 柵 昌美さん



富山市役所勤務のご主人との間に生まれた愛の結晶が、10月に誕生する予定です。子育て学習が仕事の一部の彼女にとって、準備は万端でしょう。徐々に目立つ女性特有の例の体型には、初挑戦中。元に戻るかどうかは、本人次第？周囲には「男か女か？」どちらもヒトと誘む公民館らしい予想屋が出没。とにかく幸せいっぱい柵さんです。

(西川町教育委員会社会教育課 二村常香 記)

市制施行50周年を迎えた今年。彼女が公民館にきてはや1年が過ぎた。慣れない講座に戸惑いながら、公民館の職員として昼夜を問わず頑張っていた。そんな彼女の主な担当事業は本年度30周年を迎える「婦人講座」。様々な自主講座や自主活動の支援をしている。今日も打合せや素材探しに市内を駆け回っている。

そして彼女のもう一つの姿は

小千谷市教育委員会社会教育課
小千谷市公民館

主査 林真紀子さん



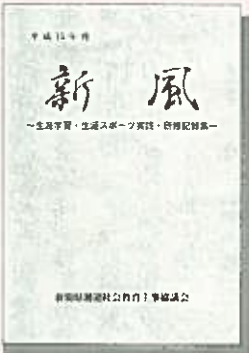
公民館の金庫番、いわゆる「大蔵大臣」である。どんな講座の講師謝礼も、公民館の消耗品費も、彼女の見事なブラインドタッチから繰り出される正確無比なキーボードの数値入力により、プリンターから排出される伝票がなければ支出できないのだ。当公民館の運営が彼女の腕にかかっている。頑張れ！マキコ！

(小千谷市教育委員会社会教育課 小千谷市公民館 山田淳司 記)

素顔
拝見

昭和四十九年度に発足したこの制度も、三十一年の節目を迎える今年から、県の財政事情等により派遣中止という事態に陥ったと聞いております。

平成十三年から広域市町村派遣が本格的に実施され、広域連携事業推進の基盤づくりの支援に対応し、県内各市町村の生涯学習・社会教育推進になくてはならない存在だっ



ただけに、大変残念に思う次第です。

このような厳しい状況の中にあっても、平成十五年度四十人の会員の皆さん方の研修

と実践を満載して「新風」が惠送されて参りました。

また、それぞれの方々が確かなめあてと見とおしをもって継続・実践された集録には、迫力と説得力がこもっております。

それでは、任期を終了し去られた方、また残られた方々のご発展、ご活躍を祈念いたしてお礼いたします。

恵贈資料紹介

平成十五年度 新風

新潟県派遣社会教育
主事協議会

Net work ネットワーク

第45回 関東甲信越静公民館研究大会 開催要項概要

テーマ 公民館の創造～協働を育む公民館活動をめざして

- 趣旨 省略
- 主催 関東甲信越静公民館連絡協議会
社団法人全国公民館連合会
東京都公民館連絡協議会
- 主管 第45回関東甲信越静公民館研究大会実行委員会
- 後援 省略
- 期日 平成16年8月26日(木)・27日(金)
- 会場 全体会 昭島市市民会館
分科会 国分寺市立本多公民館、国立市公民館、昭島市公民館、福生市公民館、立川市公民館、西東京市公民館
- 参加者 公民館職員、公民館運営審議会委員、教育委員、社会教育委員、社会教育関係職員、社会教育団体関係者、生涯学習関係者、その他本研究大会への参加希望者
- 日程 第1日目 8月26日(木)
全体会 13時～17時15分 昭島市市民会館ホール
第2日目 8月27日(金)
分科会 9時～12時 6会場
- 参加費用と申込み
①参加負担金 3,500円(資料代・記録集代等)
②参加希望者は、別紙申込書に必要事項を記入の上、参加負担金3,500円を添えて最寄りの公民館(区市町村教育委員会)を通じて、各都県公民館連絡協議会事務局へ6月30日(水)までに申し込んでください。
③各都県公民館連絡協議会は、「申込総括表」(別紙)にとりまとめ7月2日(金)までに東京都公民館連絡協議会「第45回関東甲信越静公民館研究大会実行委員会事務局」へ申し込んでください。
参加費の振込先
銀行名：多摩中央信用金庫 国分寺支店
口座番号：2919100
受取人：第45回関東甲信越静公民館研究大会事務局 中森美都子
④期限以降の申込みは、原則として受け付けません。
⑤参加取消しについては、参加負担金は、返還いたしません。その場合研究大会終了後「研究大会記録集」を出発者のものと併せて、各都県公民館連絡協議会に一括送付します。
- 研究大会実行委員会事務局
東京都国分寺市立本多公民館内
第45回関東甲信越静公民館研究大会開催事務局
〒183-0011 東京都国分寺市本多1丁目7番1号
TEL：042-321-0085 FAX：042-322-2376

event information

《子どもの居場所づくり新プラン》 ～地域の大人たちの力を結集し、子どもの居場所づくりを支援～

背景 家庭の教育力の低下 地域の教育力の低下 青少年の異年齢・異世代間交流の減少、青少年の問題行動の増加



第55回県公民館大会の準備も本格的始動というところ。大会資料原稿作成依頼、大会資料(冊子)の誌面割付構成、第2回実行委員会の開催準備等順

調に進んでおります。

第45回関東甲信越公民館研究会、主管の東京都公連から開催案内が届きました。本県担当分科会は、第4分科会です。多数の参加をお待ちしております。

(鈴木 記)